

日本語 UTF-8 で L^AT_EX: LuaL^AT_EX

bellbind

2012 年 8 月 10 日

LuaT_EX^{*1}は、T_EX 拡張をプログラミング言語 Lua^{*2}で記述できるようにしたものです。ディストリビューション texlive 2012^{*3} に標準で含まれており、日本語文書でも利用可能です。

LuaL^AT_EX での日本語文書用プリアンブルは以下のとおり。

```
\documentclass{ltjsarticle}
\usepackage{luatexja-fontspec}
```

あとは tex ファイルの文章を UTF-8 で記述して、`lualatex` コマンドでコンパイルすれば直接 PDF が出来上がります。

```
lualatex foo.tex
```

ちなみに LuaL^AT_EX では、tex ソース中に、Lua スクリプトを以下のように埋め込むことができます。

```
\usepackage{luacode}

\luaexec{
tex.print("こんにちは{\LaTeX}")
}
```

スクリプトコード中のバックスラッシュの扱いには注意が必要です。

*1 <http://www.luatex.org/>

*2 <http://www.lua.org/>

*3 <http://www.tug.org/texlive/>